

2019年11月11日

## 第19回 日中韓三カ国会計基準設定主体会議を開催

2019年11月1日、東京において日本、中国、韓国の会計基準設定主体による会議が開催され、20名以上の参加者が出席しました。本会議の参加者には、企業会計基準委員会（ASBJ）の小賀坂敦委員長、中国財政部会計司のYingli Li 副司長、韓国会計基準委員会（KASB）のEui-Hyung Kim 委員長が含まれています。また、国際会計基準審議会（IASB）から鈴木理加理事及び Jianqiao Lu 理事、香港公認会計士協会の Ernest Lee 委員長、マカオ監査人会計士登録委員会の Pou Man Ng 委員も本会議に参加しました。

今回の会議では三カ国の代表者により、各会計基準設定主体の法域における会計基準の最近の開発状況について紹介されたほか、収益認識、基本財務諸表、リースについて詳細な議論を行いました。

三カ国の代表者は次の事項について同意しました。

1. IASB の活動を継続してフォローし、より頻繁に三カ国間でコミュニケーションを取ることで、国際財務報告基準（IFRS）の開発に貢献すること。
2. アジア・オセアニア地域内の会計基準設定主体の中で主導的な役割を果たすとともに、国際的な会計設定主体においてアジア・オセアニア会計基準設定主体グループ（AOSSG）のプレゼンス及び影響を向上させること。

次回の会議は、2020年に中国で開催される予定です。

以上